

## 4385 株式会社 メルカリ

新型コロナウイルス感染拡大が与える影響とは？

IMPACT REPORT

本レポートを構成する新型コロナ関連分析結果

# 大手経済メディアへ分析データ提供多数

週刊エコノミスト

大型特集10ページ掲載6/1発売号

日本経済新聞、ITメディア、ダイヤモンドオンライン他

## 新型コロナ関連レポート累計1万ダウンロード突破！

特許取得済み自然言語処理技術  
膨大なニュースから解析を可能に

大手金融機関、事業法人を中心に  
100社以上にサービスを展開

MUFGアクセラレータプログラム  
グランプリ企業

# 目次

## メルカリへの影響予測

1. 新型コロナウイルス影響サマリー
2. シナリオ分析（エリア別）
3. サプライチェーン影響予測
  - 仕入先企業への影響予測
  - 得意先企業への影響予測
4. AI決算コメント
5. 競合企業決算分析
6. 業績要因一覧
7. 企業基本情報

メルカリ  
シナリオ影響スコア合計

84.53

増益の可能性

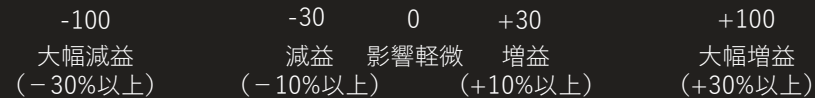
当企業は、業績にポジティブな影響を与えるシナリオが顕著にみられ、業績が伸張する可能性が高いといえます。

メルカリ  
シナリオ影響スコア合計

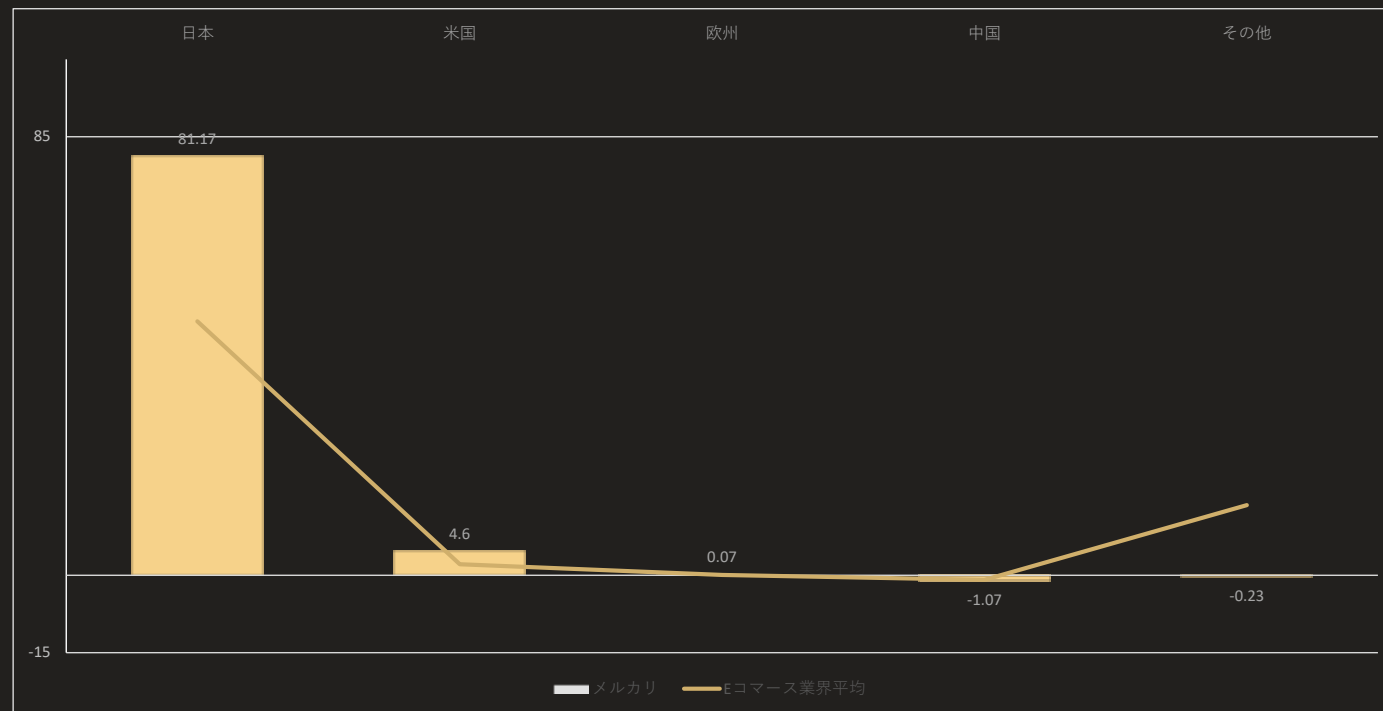
84.53

Eコマース  
業界平均

50.59



感染拡大エリア別 メルカリへの影響



メルカリ  
シナリオ影響平均時間軸

# 2.4ヵ月

本格的な影響発生中

上記期間は、影響するシナリオ全体の時間軸を平均した期間で、全体として上記期間前後を中心に業績に顕在化することを意味します（2020年3月1日を感染拡大の初日として計算）。当企業では本格的な業績影響は既に始まっていることが想定されます。

メルカリ  
シナリオ影響平均時間軸

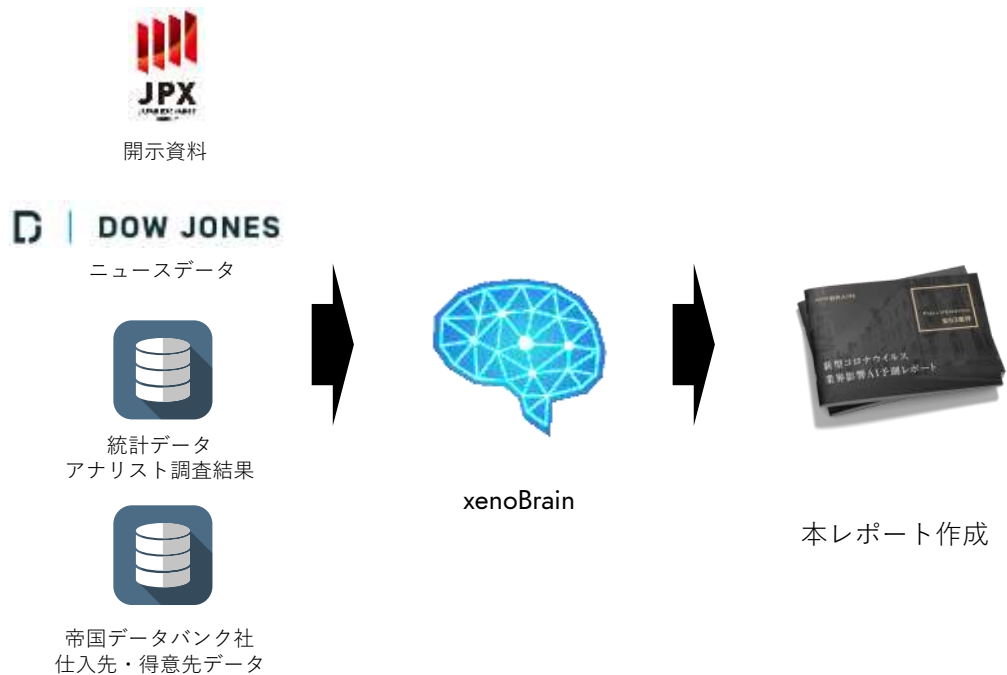


メルカリへの影響時間軸

	メルカリ	メルカリ 仕入先業界平均	メルカリ 得意先業界平均	Eコマース業界
短期 (~3か月以内に業績影響)	111.91%	120.25%	111.91%	121.71%
中期 (3か月~1年以内に業績影響)	-11.91%	-20.25%	-11.91%	-21.71%
長期 (1年超後に業績影響)	0%	0%	0%	0%
シナリオ影響 平均時間軸	2.4ヵ月	2.6ヵ月	2.4ヵ月	2.6ヵ月

# 本レポート上で掲載するスコアについて

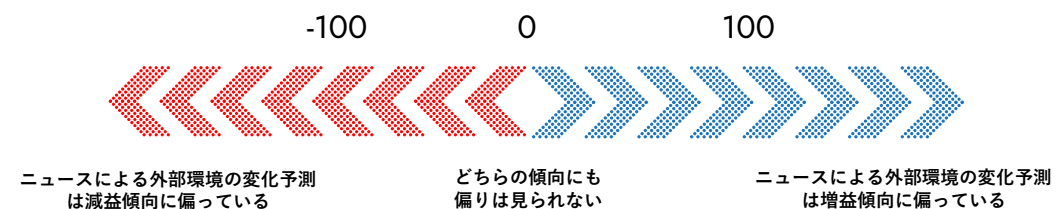
## スコア生成方法について



本資料のスコアはxenodata lab.社独自のAIによる解析及びアナリストの独自調査によりデータを抽出し、その抽出結果をシステムにより自動で計算しております。その基となっているデータは以下の4つとなります。

- ①ニュースデータ（ダウ・ジョーンズ社から提供を受ける国内約100社の経済メディアのニュース記事データ）
- ②開示資料（有価証券報告書、決算短信及び決算説明会資料に含まれる数値及び文章）
- ③統計データ（様々な団体から発表、公開されている統計データ）
- ④帝国データバンク社から提供を受けた、仕入先、得意先データ

## スコアの見方について



本資料上の企業ごとのスコアは、特定のニュースが発生した場合に、現時点でxenoBrain上でインプットされているすべてのシナリオの影響を計算したスコアです。また、本資料におけるスコアは、スコアの絶対値が大きければ大きいほど、将来業績に影響を与える可能性が高いと判断していることを意味します。また、0に近ければ近いほど実際に業績に影響する可能性が低いと判断していることを意味します。

### ※スコアを見るうえでの留意点

#### <情報の網羅性・正確性>

本資料のスコア計算に必要な情報の網羅性については鋭意努力しておりますが、インサイダー情報や市場の暗黙知など文字情報に落ちていないナレッジ、今後企業が行う対策などの企業努力や競争力は一切考慮できておりません。また、大量の企業についての予測を行うために公開されている情報を基に様々な前提をおいた自動処理が含まれており、十分な情報と時間を基にした調査を行ったアナリストと同じ見解にならない可能性もございます。あくまで公開されている経済情報のみからの予測であり、情報の網羅性・正確性を担保した予測ではないこと、ご注意ください。

#### <スコアの変動可能性>

ニュースの自動解析、アナリストの独自調査により一部データを構成しておりますので、時が経ちニュースが多く出るほどより多くのデータがインプットされ、結果としてスコアが変動することがございます。本資料は、表紙記載日付におけるxenoBrain上のデータを基に作成された資料であり、今後更新されることがございますのでご注意ください。

# メルカリ

## 影響シナリオ一覧



### 各国合計新型コロナウイルス感染拡大

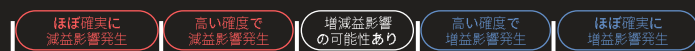
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	係数	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	日本訪日外国人数減少	0.04	日本シューズ需要減少					0.09	減収	-0.33	中期		
2	日本訪日外国人数減少	0.1	日本化粧品需要減少					0.09	減収	-0.88	中期		
3	欧州新型コロナウイルス感染拡大	0.06	日本訪日外国人数減少	0.04	日本シューズ需要減少			0.09	減収	-0.02	中期		
4	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州観光需要減少	0.2	欧州海外旅行需要減少	0.2	欧州化粧品需要減少	0.01	減収	-0.02	中期		
5	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州百貨店客数減少	0.09	欧州化粧品需要減少			0.01	減収	-0.05	短期		
6	欧州新型コロナウイルス感染拡大	0.06	日本訪日外国人数減少	0.1	日本化粧品需要減少			0.09	減収	-0.05	中期		
7	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州海外旅行需要減少	0.2	欧州化粧品需要減少			0.01	減収	-0.1	中期		
8	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州テレワーク需要増加	0.2	欧州化粧品需要減少			0.01	減収	-0.1	中期		
9	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州国内旅行需要減少	0.2	欧州化粧品需要減少			0.01	減収	-0.1	中期		
10	欧州新型コロナウイルス感染拡大	1	欧州巣ごもり消費増加	0.2	欧州フリマアプリ需要増加			0.03	増収	0.5	短期		
11	イラン新型コロナウイルス感染拡大	0.01	日本訪日外国人数減少	0.04	日本シューズ需要減少			0.09	増収	0	中期		

# メルカリ

## 影響シナリオ一覧



### 各国合計新型コロナウイルス感染拡大

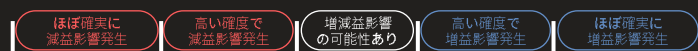
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



-30      -5      0      5      30

Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	世界原油価格下落	0.2	世界ジェット燃料価格下落	0.2	世界旅行需要増加	0.2	世界化粧品需要増加	0.1	増収	0.08	中期	
2	日本オフィス需要減少	0.28	日本不動産賃貸需要減少	0.61	日本家具需要減少			0.09	減収	-1.52	中期	
3	日本テレワーク需要増加	0.2	日本化粧品需要減少					0.09	減収	-1.8	中期	
4	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国団体海外旅行禁止	0.2	日本訪日中国人数減少	0.22	日本化粧品需要減少	0.09	減収	-0.4	中期	
5	中国新型コロナウイルス感染拡大	0.3	日本訪日外国人数減少	0.1	日本化粧品需要減少			0.09	減収	-0.27	中期	
6	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国テレワーク需要増加	0.2	中国化粧品需要減少			0.01	減収	-0.1	中期	
7	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国国内旅行需要減少	0.2	中国化粧品需要減少			0.01	減収	-0.1	中期	
8	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国海外旅行需要減少	0.2	中国化粧品需要減少			0.01	減収	-0.1	中期	
9	中国新型コロナウイルス感染拡大	0.3	日本訪日外国人数減少	0.04	日本シューズ需要減少			0.09	減収	-0.1	中期	
10	韓国新型コロナウイルス感染拡大	0.18	日本訪日外国人数減少	0.1	日本化粧品需要減少			0.09	減収	-0.15	中期	
11	韓国新型コロナウイルス感染拡大	0.18	日本訪日外国人数減少	0.04	日本シューズ需要減少			0.09	減収	-0.06	中期	
12	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国EC利用拡大					0.05	増収	4.5	短期	
13	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国巣ごもり消費増加	0.2	米国フリマアプリ需要増加			0.03	増収	0.5	短期	
14	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国海外旅行需要減少	0.2	米国化粧品需要減少			0.01	減収	-0.1	中期	
15	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国テレワーク需要増加	0.2	米国化粧品需要減少			0.01	減収	-0.1	中期	



# メルカリ

## 影響シナリオ一覧



## 各国合計新型コロナウイルス感染拡大

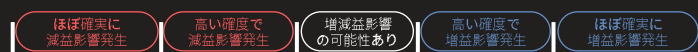
### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時価軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	係数	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
16	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国国内旅行需要減少	0.2	米国化粧品需要減少	0.01	減収	-0.1	中期				
17	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.2	世界日本円相場上昇	0.2	世界海外旅行需要増加	0.2	世界化粧品需要増加	0.1	増収	0.08	中期		
18	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.05	日本訪日外国人人数減少	0.1	日本化粧品需要減少	0.09	減収	-0.05	中期				
19	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国百貨店客数減少	0.09	米国化粧品需要減少	0.01	減収	-0.05	短期				
20	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.2	世界日本円相場上昇	0.2	日本訪日外国人人数減少	0.1	日本化粧品需要減少	0.09	減収	-0.04	中期		
21	米国新型コロナウイルス感染拡大	1	米国観光需要減少	0.2	米国海外旅行需要減少	0.2	米国化粧品需要減少	0.01	減収	-0.02	中期		
22	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.05	日本訪日外国人人数減少	0.04	日本シューズ需要減少	0.09	減収	-0.02	中期				
23	米国新型コロナウイルス感染拡大	0.2	世界日本円相場上昇	0.2	日本訪日外国人人数減少	0.04	日本シューズ需要減少	0.09	減収	-0.01	中期		
24	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本EC利用拡大	0.81	増収	81	短期						
25	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本巣ごもり消費増加	0.2	日本フリマアプリ需要増加	0.45	増収	9	短期				
26	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本海外旅行需要減少	0.2	日本化粧品需要減少	0.09	減収	-1.8	中期				
27	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本国内旅行需要減少	0.2	日本化粧品需要減少	0.09	減収	-1.8	中期				
28	日本新型コロナウイルス感染拡大	1	日本百貨店客数減少	0.09	日本化粧品需要減少	0.09	減収	-0.81	短期				
29	日本新型コロナウイルス感染拡大	0.2	世界日本円相場上昇	0.2	世界海外旅行需要増加	0.2	世界化粧品需要増加	0.1	増収	0.08	中期		
30	日本新型コロナウイルス感染拡大	0.2	世界日本円相場上昇	0.2	日本訪日外国人人数減少	0.1	日本化粧品需要減少	0.09	減収	-0.04	中期		

# エリア別 シナリオ一覧

- 日本
- 米国
- 欧州
- 中国
- その他（インド、ブラジル、韓国、インドネシア、イラン、ロシア、トルコ、豪州、アフリカ）



# メルカリ

## 影響シナリオ一覧



### 日本新型コロナウイルス感染拡大

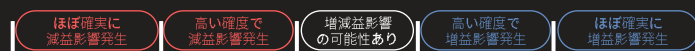
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本EC利用拡大	⇒		⇒		⇒	0.81 増収	81	短期	
2	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本巣ごもり消費増加	⇒	0.2 日本フリマアプリ需要増加	⇒		⇒	0.45 増収	9	短期	
3	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 世界海外旅行需要増加	⇒	0.2 世界化粧品需要増加	⇒	0.1 増収	0.08	中期	
4	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 日本訪日外国人数減少	⇒	0.04 日本シューズ需要減少	⇒	0.09 減収	-0.01	中期	
5	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 日本訪日外国人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒	0.09 減収	-0.04	中期	
6	日本訪日外国人数減少	⇒	0.04 日本シューズ需要減少	⇒		⇒		⇒	0.09 減収	-0.33	中期	
7	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本百貨店客数減少	⇒	0.09 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0.09 減収	-0.81	短期	
8	日本訪日外国人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒		⇒		⇒	0.09 減収	-0.88	中期	
9	日本オフィス需要減少	⇒	0.28 日本不動産賃貸需要減少	⇒	0.61 日本家具需要減少	⇒		⇒	0.09 減収	-1.52	中期	
10	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本国内旅行需要減少	⇒	0.2 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0.09 減収	-1.8	中期	
11	日本新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 日本海外旅行需要減少	⇒	0.2 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0.09 減収	-1.8	中期	
12	日本テレワーク需要増加	⇒	0.2 日本化粧品需要減少	⇒		⇒		⇒	0.09 減収	-1.8	中期	
	総計								増益	81.09		

# メルカリ

## 影響シナリオ一覧



### 米国新型コロナウイルス感染拡大

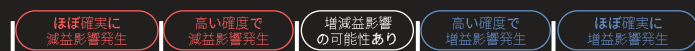
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	係数	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国EC利用拡大	⇒		⇒		⇒	0.05	増収	4.5	短期
2	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国巣ごもり消費増加	⇒	0.2 米国フリマアプリ需要増加	⇒		⇒	0.03	増収	0.5	短期
3	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 世界海外旅行需要増加	⇒	0.2 世界化粧品需要増加	⇒	0.1	増収	0.08	中期
4	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 日本訪日外国人数減少	⇒	0.04 日本シューズ需要減少	⇒	0.09	減収	-0.01	中期
5	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.05 日本訪日外国人数減少	⇒	0.04 日本シューズ需要減少	⇒		⇒	0.09	減収	-0.02	中期
6	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国観光需要減少	⇒	0.2 米国海外旅行需要減少	⇒	0.2 米国化粧品需要減少	⇒	0.01	減収	-0.02	中期
7	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.2 世界日本円相場上昇	⇒	0.2 日本訪日外国人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒	0.09	減収	-0.04	中期
8	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国百貨店客数減少	⇒	0.09 米国化粧品需要減少	⇒		⇒	0.01	減収	-0.05	短期
9	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.05 日本訪日外国人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒		⇒	0.09	減収	-0.05	中期
10	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国国内旅行需要減少	⇒	0.2 米国化粧品需要減少	⇒		⇒	0.01	減収	-0.1	中期
11	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国テレワーク需要増加	⇒	0.2 米国化粧品需要減少	⇒		⇒	0.01	減収	-0.1	中期
12	米国新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 米国海外旅行需要減少	⇒	0.2 米国化粧品需要減少	⇒		⇒	0.01	減収	-0.1	中期
	総計									増益	4.59	

# メルカリ

## 影響シナリオ一覧



### 欧州新型コロナウイルス感染拡大

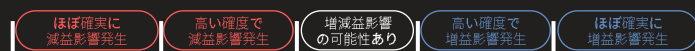
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab.社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ影響スコア	時間軸
1	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州巣ごもり消費増加	⇒	0.2 欧州フリマアプリ需要増加	⇒	0.03 増収	⇒	0.5	短期		
2	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.06 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.04 日本シューズ需要減少	⇒	0.09 減収	⇒	-0.02	中期		
3	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州観光需要減少	⇒	0.2 欧州海外旅行需要減少	⇒	0.2 欧州化粧品需要減少	⇒	0.01 減収	-0.02	中期	
4	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州百貨店客数減少	⇒	0.09 欧州化粧品需要減少	⇒	0.01 減収	⇒	-0.05	短期		
5	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	0.06 日本訪日外国人人数減少	⇒	0.1 日本化粧品需要減少	⇒	0.09 減収	⇒	-0.05	中期		
6	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州海外旅行需要減少	⇒	0.2 欧州化粧品需要減少	⇒	0.01 減収	⇒	-0.1	中期		
7	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州テレワーク需要増加	⇒	0.2 欧州化粧品需要減少	⇒	0.01 減収	⇒	-0.1	中期		
8	欧州新型コロナウイルス感染拡大	⇒	1 欧州国内旅行需要減少	⇒	0.2 欧州化粧品需要減少	⇒	0.01 減収	⇒	-0.1	中期		
	総計								増益	0.06		

# メルカリ

## 影響シナリオ一覧



### 中国新型コロナウイルス感染拡大

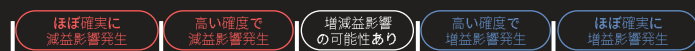
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	
1	中国新型コロナウイルス感染拡大	0.3	日本訪日外国人人数減少	0.04	日本シューズ需要減少		0.09	減収	-0.1 中期	
2	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国海外旅行需要減少	0.2	中国化粧品需要減少		0.01	減収	-0.1 中期	
3	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国国内旅行需要減少	0.2	中国化粧品需要減少		0.01	減収	-0.1 中期	
4	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国テレワーク需要増加	0.2	中国化粧品需要減少		0.01	減収	-0.1 中期	
5	中国新型コロナウイルス感染拡大	0.3	日本訪日外国人人数減少	0.1	日本化粧品需要減少		0.09	減収	-0.27 中期	
6	中国新型コロナウイルス感染拡大	1	中国団体海外旅行禁止	0.2	日本訪日中国人人数減少	0.22	日本化粧品需要減少	0.09	減収	-0.4 中期
総計									減益 -1.07	

# メルカリ

## 影響シナリオ一覧



### その他エリア 新型コロナウイルス感染拡大

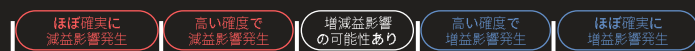
#### <表の見方について>

係数：前後2要因の関係性の強さを示す数値であり、利用用途のシェアを示す統計情報や、xenodata lab.アナリストの独自の推定値などを基に計算しております。A→Bの係数が0.2のとき、Bの動向を決定する要因として20%がAであることを示しています。

シナリオ影響スコア：各係数を掛け合わせた数にさらに100を掛けた数値です。xenoBrain上で生成された、企業に影響するシナリオを業界ごとに集計し、発生企業数で平均した数値となります。スコアが大きいことは、その業界所属企業へより高い確度で影響することを意味します。

時間軸：短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。公的機関やリサーチ期間が公開している統計データやレポートを基に、xenodata lab社のアナリストが判断しています。

シナリオ影響スコアが意味する影響の目安



Rank	一次要因	⇒	二次要因	⇒	三次要因	⇒	四次要因	⇒	企業影響	影響	シナリオ 影響スコア	時間軸
1	世界原油価格下落	0.2	世界ジェット燃料価格下落	0.2	世界旅行需要増加	0.2	世界化粧品需要増加	0.1	増収	0.08	中期	
2	イラン新型コロナウイルス感染拡大	0.01	日本訪日外国人人数減少	0.04	日本シューズ需要減少			0.09	増収	0	中期	
3	インドネシア新型コロナウイルス感染拡大	0	日本訪日外国人人数減少	0.04	日本シューズ需要減少			0.09	増収	0	中期	
4	インドネシア新型コロナウイルス感染拡大	0	日本訪日外国人人数減少	0.1	日本化粧品需要減少			0.09	増収	0	中期	
5	イラン新型コロナウイルス感染拡大	0.01	日本訪日外国人人数減少	0.1	日本化粧品需要減少			0.09	減収	-0.01	中期	
6	韓国新型コロナウイルス感染拡大	0.18	日本訪日外国人人数減少	0.04	日本シューズ需要減少			0.09	減収	-0.06	中期	
7	韓国新型コロナウイルス感染拡大	0.18	日本訪日外国人人数減少	0.1	日本化粧品需要減少			0.09	減収	-0.15	中期	
総計									減益	-0.14		

# メルカリ

## サプライチェーン分析

- 仕入先分析サマリー
- 仕入先減益ランキング
- 仕入先増益ランキング
- 得意先分析サマリー
- 得意先減益ランキング
- 得意先増益ランキング



サプライチェーン分析 仕入先企業分析

メルカリ 仕入先業界への影響

メルカリ  
仕入先企業  
シナリオ影響スコア平均

-21.98

仕入先企業  
比較的軽微な影響

当企業の仕入先は、業績にネガティブな影響を与えるシナリオとポジネガな影響を与えるシナリオの両方がどちらか一方への大きな偏りはなく、仕入先企業の全体として業績の影響は軽微といえます。

業界名	仕入先シナリオ影響スコア合計	影響	主な仕入先企業 (シナリオ影響スコア合計)
-----	----------------	----	--------------------------

広告・イベント	-21.98	影響軽微	株式会社セゾングループホールディングス (1.25) 株式会社セゾングループホールディングス (1.25) 株式会社セゾングループホールディングス (1.25) 株式会社セゾングループホールディングス (1.25) 株式会社セゾングループホールディングス (1.25) 株式会社セゾングループホールディングス (1.25) 株式会社セゾングループホールディングス (1.25) 株式会社セゾングループホールディングス (1.25) 株式会社セゾングループホールディングス (1.25) 株式会社セゾングループホールディングス (1.25)
---------	--------	------	--

# メルカリ

## サプライチェーン分析 仕入先 減益影響ランキング

各国合計新型コロナウイルス感染拡大

<表の見方について>

業界名：xenoBrain独自の63分類です。

総合スコア：xenoBrain上で生成された、企業に影響する全経路のシナリオ影響スコアの合計を意味します。

企業名：全ての仕入先企業を対象に、各企業のシナリオ影響スコア合計の大きい順で表示しています。仕入先情報は帝国データバンク社から提供を受けたデータです。当ランキングでは仕入先からの仕入金額や依存度などは考慮していません。

主要取扱商品・サービス：有価証券報告書等の記載を基にxenodat独自のアルゴリズムやリサーチ結果により選定した情報です。仕入先企業の業態を示す情報であり、当業界所属企業へ販売している商品・サービスを示している情報ではございませんのでご注意ください。

企業ごとの総合スコアが意味する影響の目安

大幅減益

減益

影響軽微

増益

大幅増益

-100

-30

0

30

100

Ranking 業界名 総合スコア 企業名 主要取扱商品・サービス

## サプライチェーン分析は 有料版でご利用できます

【期間限定】特別価格プランの紹介ページはこちら [🔗](#)

本プランでは国内全上場企業のレポートを無制限にダウンロードが可能です。

未上場企業のレポートも間もなくリリース予定！！

# メルカリ

## サプライチェーン分析 仕入先 増益影響ランキング

各国合計新型コロナウイルス感染拡大

<表の見方について>

業界名：xenoBrain独自の63分類です。

総合スコア：xenoBrain上で生成された、企業に影響する全経路のシナリオ影響スコアの合計を意味します。

企業名：全ての仕入先企業を対象に、各企業のシナリオ影響スコア合計の大きい順で表示しています。仕入先情報は帝国データバンク社から提供を受けたデータです。当ランキングでは仕入先からの仕入金額や依存度などは考慮していません。

主要取扱商品・サービス：有価証券報告書等の記載を基にxenodat独自のアルゴリズムやリサーチ結果により選定した情報です。仕入先企業の業態を示す情報であり、当業界所属企業へ販売している商品・サービスを示している情報ではございませんのでご注意ください。

企業ごとの総合スコアが意味する影響の目安

大幅減益

減益

影響軽微

増益

大幅増益

-100

-30

0

30

100

Ranking 業界名 総合スコア 企業名 主要取扱商品・サービス

## サプライチェーン分析は 有料版でご利用できます

【期間限定】特別価格プランの紹介ページはこちら 

本プランでは国内全上場企業のレポートを無制限にダウンロードが可能です。

未上場企業のレポートも間もなくリリース予定！！

当企業には、得意先企業に該当するデータがございませんでした。


# メルカリ

## AI決算コメント

### 2020年06月期 第3四半期

(19/07 - 20/03月)

決算発表日時2020年 04月30日 15:00

AI決算分析サービスをもっと知りたい 

#### <AI決算コメントについて>

本コメントは、決算発表後最速数十秒で自動生成されるテキスト形式のレポートであり、その内容を定期的に本レポートに反映しております。本レポートでは、営業利益や最終利益の実績値の結果情報だけでなく、その業績変動の背景を独自の自然言語処理技術を使って自動解説として出力しており、瞬時に決算の背景を理解することができます。また、セグメント数値を自動で抽出することにより、その決算の業績変動のドライバーとなったセグメントについてもすぐに確認することが可能です。

19年7月～20年3月期、売上高は、534億円で前年同期比42.7%増収となった。営業利益は、営業赤字203億円で赤字幅拡大となった。営業赤字の拡大は、広告宣伝費や人件費の増加等が影響した。経常利益は、経常赤字203億円で赤字幅拡大となった。最終利益は、最終赤字222億円で着地した。受取利息1.11億円の計上も、減損損失9.22億円、投資有価証券評価損2.04億円の計上が影響した。

四半期ベースでは、前年同期比では、売上高は、204億円でy-y49.8%増収となった。営業利益は、営業赤字63.9億円で赤字幅拡大となった。経常利益は、経常赤字64.3億円で赤字幅拡大となった。最終利益は、最終赤字81.1億円で赤字幅拡大となった。前四半期比売上高は、204億円でq-q10.4%増収となった。営業利益は、営業赤字63.9億円で赤字幅縮小となった。経常利益は、経常赤字64.3億円で赤字幅縮小となった。最終利益は、最終赤字81.1億円で赤字幅拡大となった。

会社は20年6月期業績予想を発表し、売上高を730億円、営業赤字を250億円、経常赤字を250億円、最終赤字を276億円とした。

自己資本比率は17.0%で19年6月末の31.1%から大幅に悪化した。


EBITDAマージンは-38.04%(前年同期は-16.01%)となった。

インタレストカバレッジレシオは-110.89倍(前年同期は-92.02倍)となった。

D/Eレシオは1.60倍(前期末は1.03倍)となった。

# ネット通販9社

## 競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい 

### 予想値分析

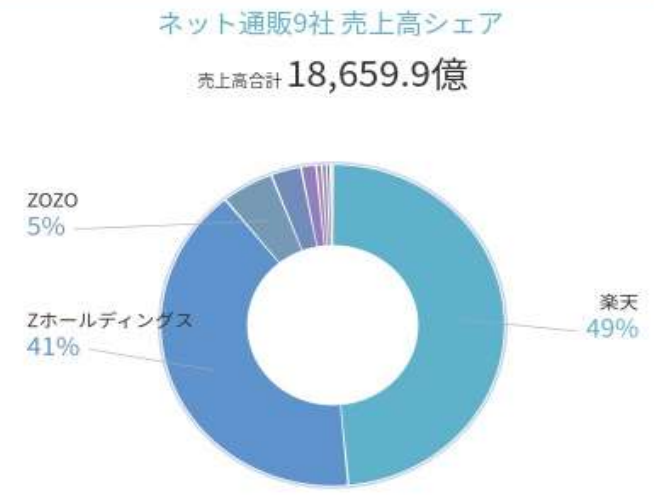


配当  
予想 期末配当予想 未定

### P/L分析



### 競合分析




### 営業利益影響要因の経年分析



ネット通販9社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい 

予想値分析



営業利益  
予想 会社計画発表なし



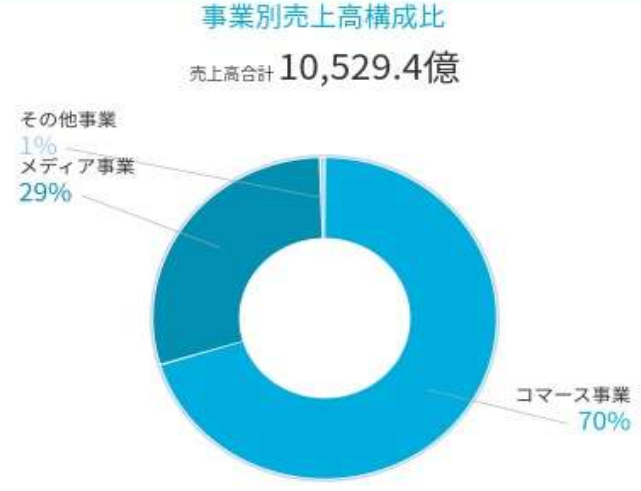
P/L分析



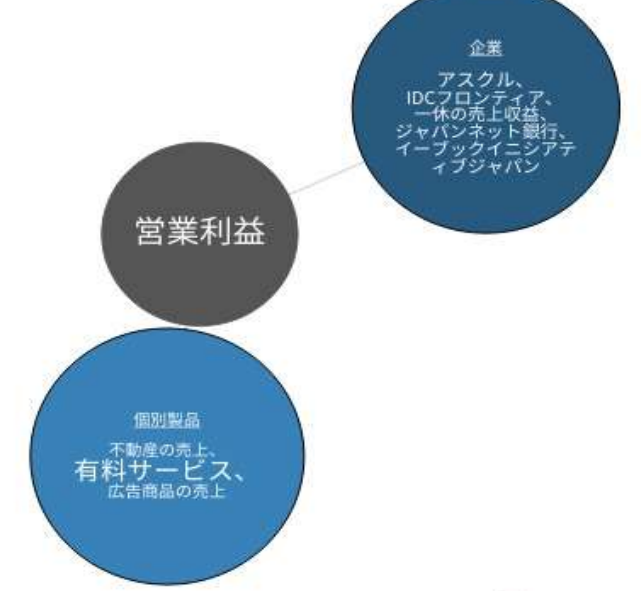
事業別分析



2019年11月に(株)ZOZOを連結子会社化したことや、アスクルグループにおける売上収益、「Yahoo!ショッピング」における広告売上収益(※1)、(株)一休における売上収益が増加したこと等により増収増益となった。



営業利益影響要因の経年分析



# ネット通販9社

## 競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい

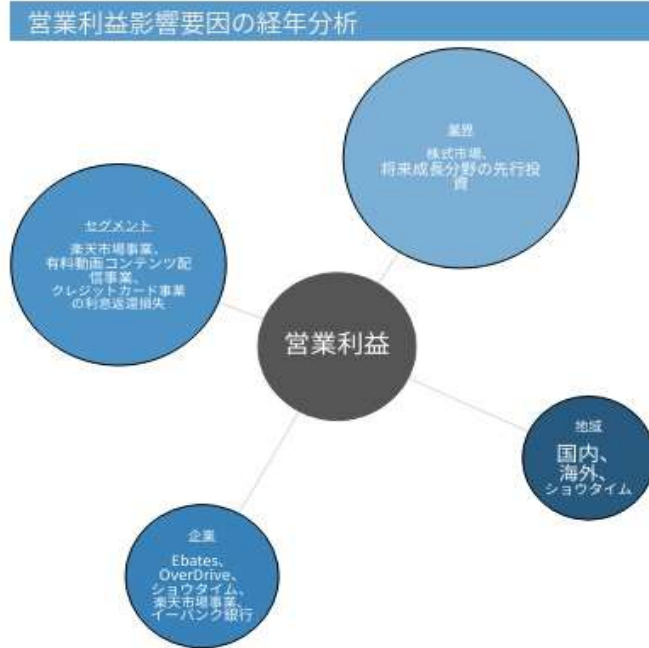
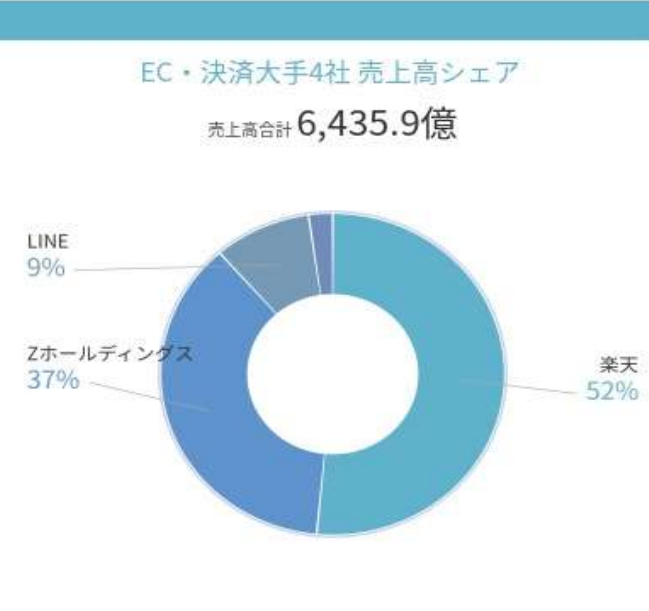


### 予想値分析

進捗率	会社計画発表なし
営業益予想	会社計画発表なし
配当予想	中間配当予想 未定



売上収益の増加があるも、減価償却費及び償却費、販売促進費および人件費が増加したことや、一過性の要因として、前年同四半期に(株)IDCフロンティアの売却益があったこと等により減益となった。





# ネット通販9社

## 競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



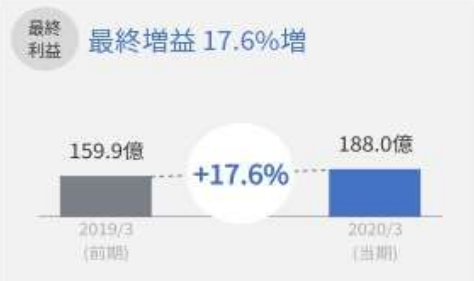
### 予想値分析



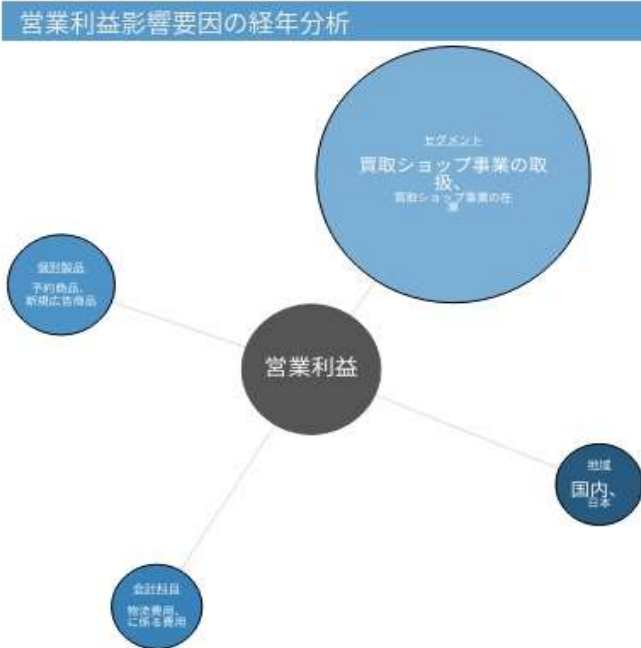
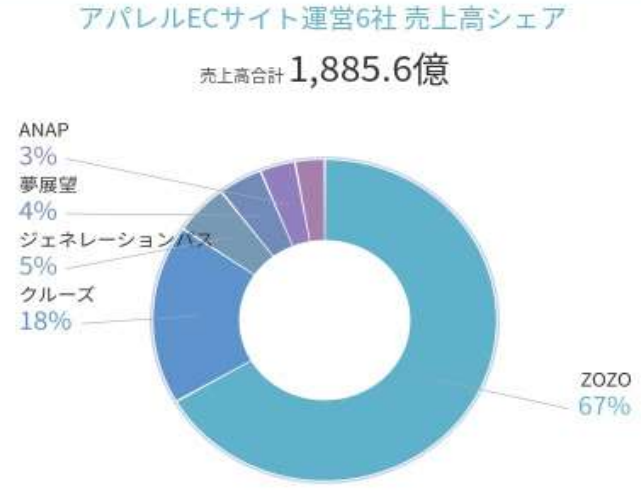
営業利益  
予想 会社計画発表なし



### P/L分析



### 競合分析



# ネット通販9社

## 競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



### 予想値分析



通期業績予想達成回数 5/7回  
通期業績予想平均達成率 106.0%  
※過去の通期決算で発表された次期業績予想の達成状況

### 配当予想 期末配当金 予想上振れ



※開示された配当予想値に株式分割/併合を考慮した値  
中間配当予想は0.0円と発表された。  
株式分割 1株->2株、効力発生日は2019年8月1日

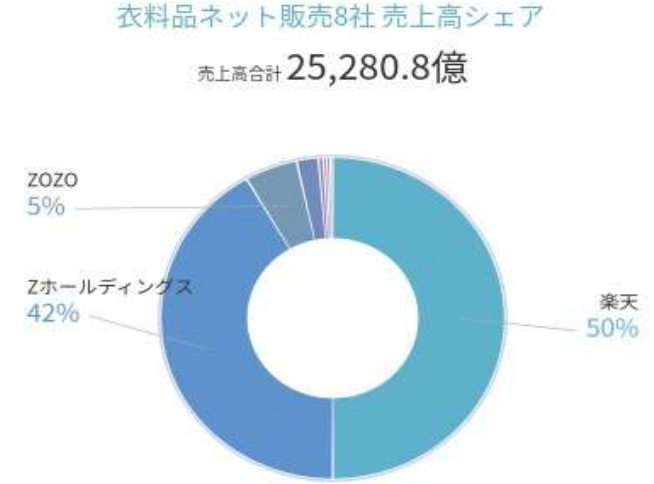
### P/L分析



アプリ経由での取引が好調に拡大したことに加え、世界中のトレンドを先取りした企画・セールスの展開、SNSを活用したアプリ訴求、監視強化による購入体験品質の向上等、サービス・機能の拡充を図る各種施策の展開による効果を背景に購入単価も上昇し、全体の総取扱高成長は計画通り堅調に推移したことにより増収となった。



### 競合分析



### 営業利益影響要因の経年分析

解析対象の文章が不足しているため  
バブルチャートを表示できませんでした

ネット通販9社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



営業益  
予想 会社計画発表なし

配当  
予想 期末配当金 計画通り



中間配当予想は0.0円と発表された。

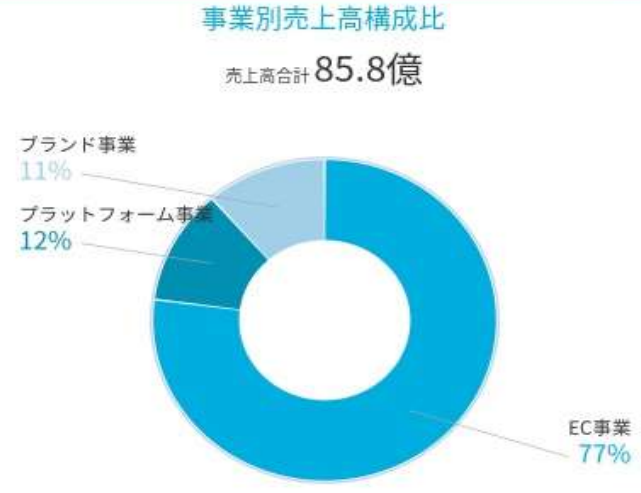
P/L分析



EC事業、ブランド事業の売上増加により増収となった。



事業別分析



営業利益影響要因の経年分析

解析対象の文章が不足しているため  
バブルチャートを表示できませんでした

ネット通販9社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



営業益  
予想 会社計画発表なし

配当  
予想 期末配当金 計画通り



次期配当予想 発表なし

P/L分析



時計事業は売上増加も、カメラ事業の売上減少が影響し、全体としておおむね横ばいで推移した。



カメラ事業の好調により増益となった。



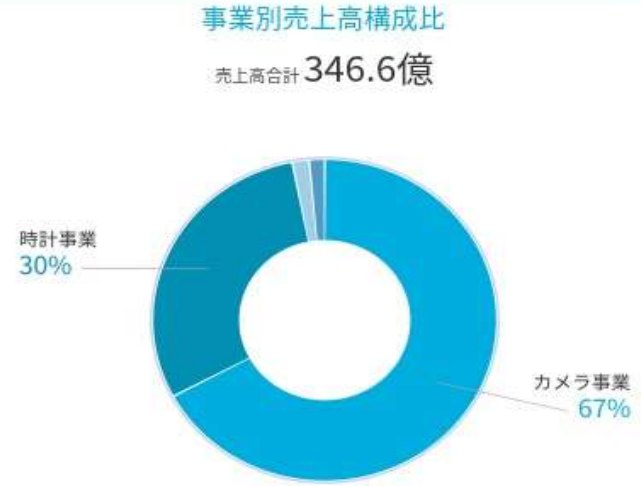
事業別分析



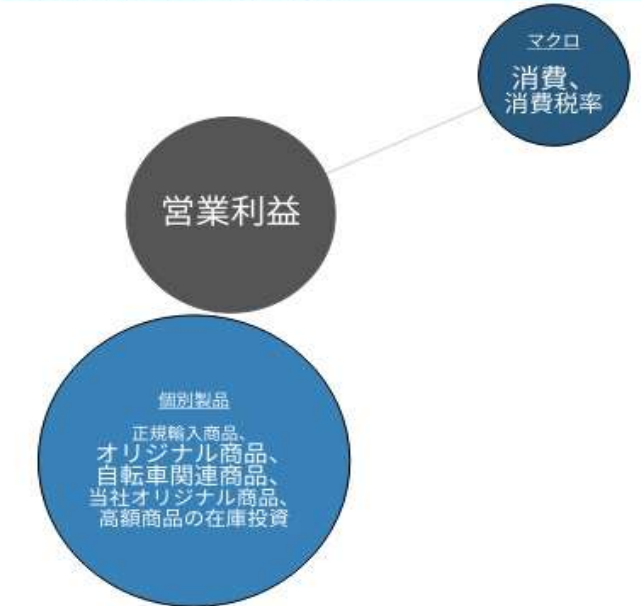
売上総利益率の改善に取り組んできたことの奏功により増益となった。



消費増税後の反動減や2月中旬からは新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によるインバウンド需要の減少も、期初からの様々な取り組みによってにより増益となった。



営業利益影響要因の経年分析



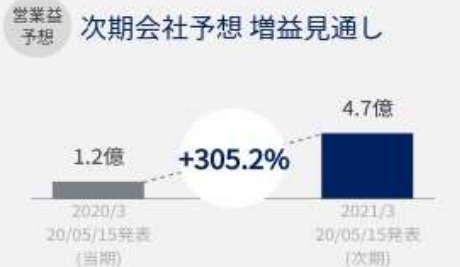
ネット通販9社

競合企業決算分析

AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



通期業績予想達成回数: 1/3回  
通期業績予想平均達成率: 95.5%  
※過去の通期決算で発表された次期業績予想の達成状況

配当  
予想 期末配当金 計画通り



中間配当予想は0.0円と発表された。

P/L分析



競合分析



バリューサイクル部門は不振だったが、インキュベーション事業の好調により増益となった。



ECマーケティング事業の不振により減益となった。



プラットフォーム事業は好調だったが、コマース事業、その他事業の不振により減益となった。



営業利益影響要因の経年分析

解析対象の文章が不足しているため  
バブルチャートを表示できませんでした

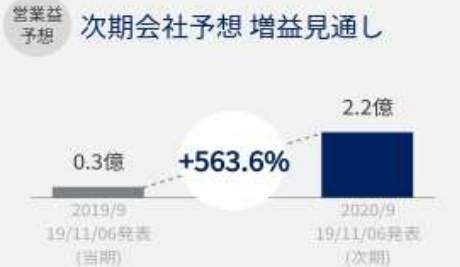
ネット通販9社

競合企業決算分析

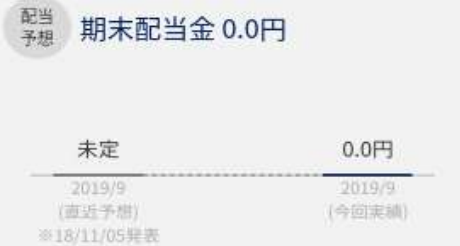
AI決算分析サービス  
をもっと知りたい



予想値分析



通期業績予想達成回数 1/3回  
通期業績予想平均達成率 65.9%  
※過去の通期決算で発表された次期業績予想の達成状況



次期配当予想 発表なし

P/L分析



10連休となった今年のゴールデンウィーク中に遅れた未出品在庫は第4四半期会計期間に出品を強化するも、全体としておおむね横ばいで推移した。



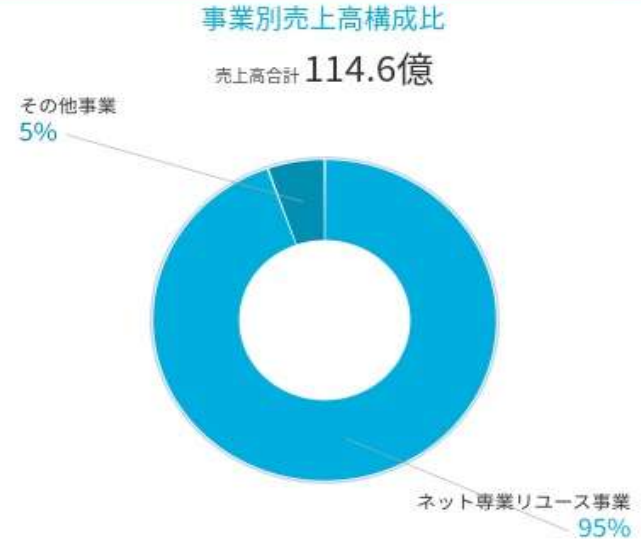
ネット専業リユース事業の不振により減益となった。



事業別分析



引き続き広告宣伝費の投下による買取商品の増加するも、自社販路の集客の遅れ等による販売の減少、及び売上総利益率の低下により減益となった。



営業利益影響要因の経年分析

解析対象の文章が不足しているため  
バブルチャートを表示できませんでした

# メルカリ

## 業績要因一覧

セグメント及び業績に影響するトピック	売上高構成比率	影響時間軸	売上高(百万円)	出典	新型コロナウイルス感染拡大影響有無
単一セグメント企業					
EC通信速度	10%	短期		有価証券報告書	
EC利用	90%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
eKYC需要	10%	短期		企業HP	
ウィメンズファッション需要	10%	短期		有価証券報告書	
シューズ需要	10%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
フリマアプリ需要	50%	短期		決算説明会資料	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
フリマアプリ利用	10%	短期		有価証券報告書	
メンズファッション需要	10%	短期		有価証券報告書	
モバイル決済需要	10%	短期		決算説明会資料	
化粧品需要	10%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
家具需要	10%	短期		有価証券報告書	新型コロナウイルス感染拡大の影響有り
家電製品需要	10%	短期		有価証券報告書	
中古品市場	10%	短期		有価証券報告書	
非接触決済需要	10%	短期		決算説明会資料	

### <表の見方について>

セグメント及び業績に影響するトピック：開示資料を中心に、様々なデータソースから抽出された本レポート対象企業の業績に影響を及ぼすトピックを、セグメントに分類して列挙しております。

売上高構成比率：セグメント名称と同一行にある比率は、そのセグメントの売上高構成比率を表示しております。各業績に影響するトピックは、セグメント売上高構成比率を基に、主力商品や主要原材料をより高く、非主力商品や非主要原材料をより低くなるよう、xenoBrain上で独自に推定した比率が表示されております。

影響時間軸：業績に影響するトピックに変動があったときに、どのような時間軸で業績に影響するかをxenodata lab.社のアナリストが判断しています。短期は3か月以内の影響、中期は3か月超1年以内の影響、長期は1年超の影響を推測していることを意味します。

売上高：セグメント売上高及び連結財務諸表上の売上高を表示しております。

出典：業績に影響するトピックを抽出したデータソースを表示しております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響有無：「新型コロナウイルス感染拡大の影響有り」と記載されている場合、新型コロナウイルス感染拡大の影響で同一行に表示されるトピックが増減（又は発生）し、その結果として当企業の業績に影響を及ぼす可能性があることを意味します。

# メルカリ

## 基本情報

企業コード	4385
企業名	メルカリ
業種（東証33業種）	情報・通信業
業種（xenoBrain）	Eコマース
代表者	代表取締役CEO 山田 進太郎
住所	東京都港区六本木6-10-1六本木ヒルズ森タワー
電話番号	03-6804-6907
売上高	51,683百万円
資本金	40,110百万円
取引市場	東証マザーズ
URL	<a href="https://about.mercari.com/">https://about.mercari.com/</a>




# Eコマース業界

---

## メルカリが所属する業界全体の分析レポート

xenoBrainでは新型コロナウイルス感染拡大が、所属する業界全体にどのような影響が発生しているのか、また、どのようなシナリオが考えられるかを、総合的に俯瞰できる業界レポートも提供しております。

Eコマース業界のレポートダウンロードはこちら↓

業界レポート ダウンロード 

[全63業界完全版レポートのダウンロードはこちら >>>](#)



# 本レポート発行企業

株式会社xenodata lab.

所在地 〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-29-1  
渋谷クロスロードビル5F  
設立年月日 2016年2月12日  
代表者 代表取締役社長 関 洋二郎  
従業員数 25名

## 沿革

- 2016/08 第一期 MUFJ Fintechアクセラレータ **グランプリ受賞**
- 2019/03 Series Bラウンド〃 資金調達 **6.8億円**
- 2019/4 **時事通信社**と業務資本提携契約締結
- 2019/06 **ダウ・ジョーンズ社**と業務提携強化を発表
- 2019/11 **帝国データバンク**との業務提携を発表

株式会社xenodata lab.は、AIにより経済・企業の将来予測をリアルタイムで提供するSaaS型AIサービス『xenoBrain』を運営するスタートアップ企業です。2016年に創業以来、経済予測に特化し自然言語処理や機械学習を中心とした技術で膨大な経済データの解析を行い、主に大手金融機関や事業法人にサービスを提供しております。